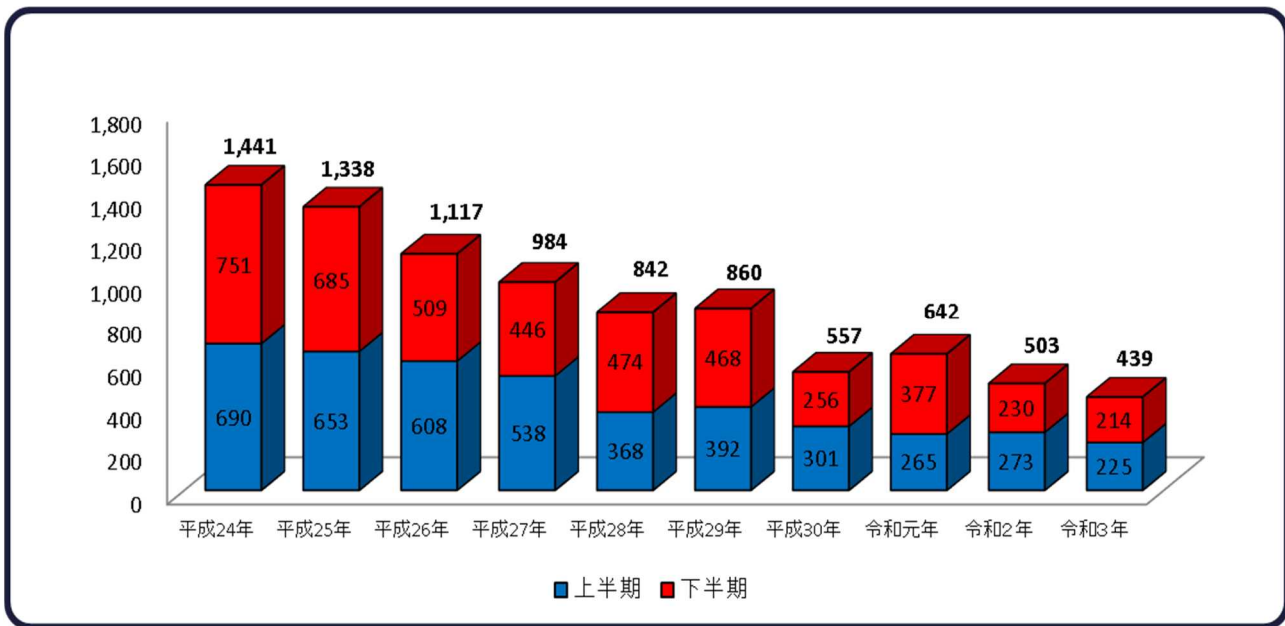


忍びの分析結果(令和3年中)

1 発生状況

(1) 千葉県における認知件数の推移(平成24年～令和3年)



忍びの認知件数は、平成24年以降、若干の増減はあるが、おおむね減少傾向にあり、令和3年中は439件であった。

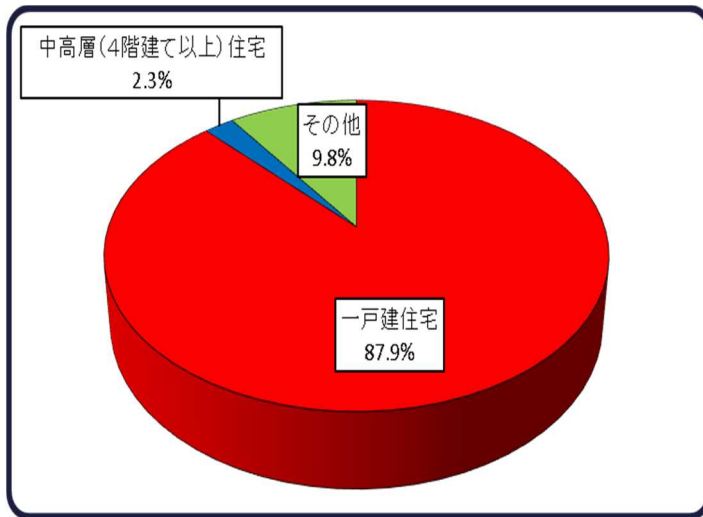
(2) 各年中の全国及び千葉県における認知件数の推移(平成24年～令和3年)



平成24年以降、全国的には若干の増減はあるが、おおむね減少傾向にあり、平成24年に比べ、令和3年は約62.3%減少、前年比では802件(約13.5%)減少となった。

県内では、若干の増減はあるが、平成24年に比べ、令和3年は約69.5%減少、前年比では、64件(約12.7%)減少となった。

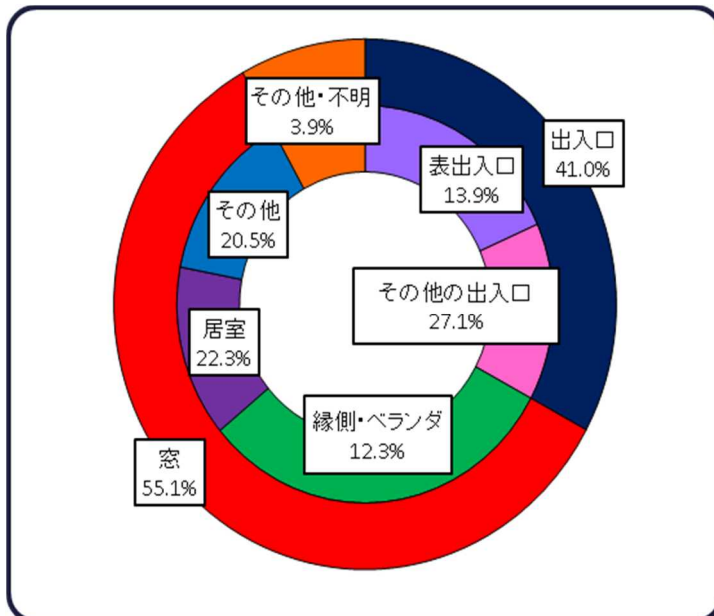
2 発生場所



約9割が一戸建て住宅で発生している。
中高層住宅での発生は僅かである。

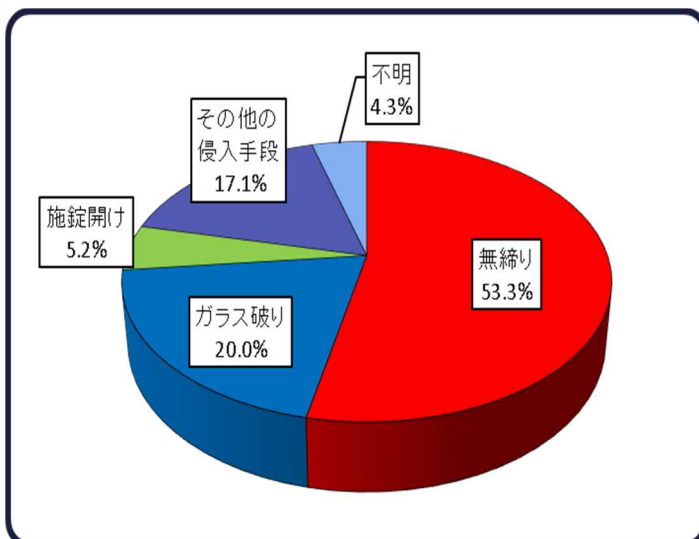
その他とは、3階建て以下の共同住宅や
長屋建て住宅、テラスハウスなどの住宅を
いう。

3 侵入口



出入口からの侵入が約4割、窓からの侵入が約6割となっている。

4 侵入手段



無締りが約5割、ガラス破りが約2割である。

合かぎ等の施錠開けによる侵入は僅かであるが、依然として発生している。

【忍込み発生署別認知件数(令和3年中)】

